

22 全国曹洞宗青年会

# SOUSEI

182  
2018.08

## 特集 発信



撮影をにこやかに振返る河口副会長

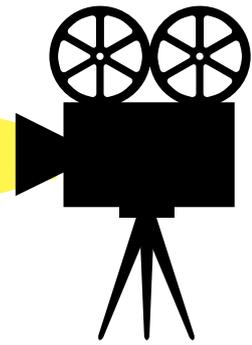
特集

# 発信

## 短編映画 『典座-TENZO-』 インタビュー

Interview

映画監督	富田克也
スタジオ石	向山正洋
	古屋卓磨
全曹青副会長	河口智賢



全国曹洞宗青年会(以下、全曹青)では今期、「食といのちの循環」をテーマにした短編映画『典座-TENZO-』を制作しています。映画に対する熱い思いを、河口副会長の自坊であり映画の撮影場所でもある耕雲院で語っていただきました。

はじめに

—全曹青で映画を作ろうとした経緯は？

河口師／今期の全曹青は、『禅を世界へ、そして未来へ』というのが大きなテーマでありまして、今年11月には世界仏教徒会議がこの日本の大本山總持寺で行われます。その世界大会に向けてどのように禅を世界に発信していくか。言葉には壁がありますが、映像は見た人々が見た瞬間に共通するものとか同じ感覚を得ることが出来るものです。その中でたどり着いた答えというのが映画を作ることでした。

—富田監督に依頼した経緯は？

河口師／まず、私の縁者であるということ。これは本当にご縁です。映画を作るにしても、ただ単なる映像ではなく、世界の人々が一緒に考え、気付きを与えられるような作品にしたいと思い、それで(富田監督に)お願いすることになりました。

—監督は、お寺や仏教に対してどのようなイメージがありましたか？

富田監督／僕はこの耕雲院の孫という立場なので、小さいころからお寺という環境にすごくなじみがありまして、仏教の世界になんとなく子どもながらに憧れを感じてい

## 富田克也監督プロフィール

山梨県甲府市出身。2011年、『サウターチ』が第64回ロカルノ国際映画祭で独立批評家連盟特別賞を受賞したほか、第33回ナント三大陸映画祭で金の気球賞を受賞。2012年、第66回毎日映画コンクールでは日本映画優秀賞と監督賞を受賞。2016年、『バンコクナイツ』で第69回ロカルノ国際映画祭・インターナショナルコンペティション部門で若手審査員賞を受賞。



▲スマホをかざしてQRコードを読み取っていただくと、短編映画『典座-TENZO-』の特報動画をご覧いただけます。



写真上から／禅を通じての映画『典座』作成へ想いを話す  
富田克也監督とスタジオ石 向山正洋氏 古屋卓磨氏

た時期がありました。僕が映画を作りたいと思うようになって最初に作った映画も、このお寺・耕雲院を舞台にして仏教の道を探求するような映画処女作でした。そこから十数年を経て、こういう話を縁者である智賢（河口師）からいただいて、これは今の心境としては、たまたまではなくて授かったといえますか、言葉で言うなら縁起ですか。

## 映画の特徴

**富田監督**／たまたま僕たちはこの短編映画『典座』を作る前にタイを舞台にした映画を

作りまして、長々とタイ、ラオス、そういった東南アジアを旅してまわりました。そこは現代においても仏教が人々の生活に非常に深く根付いていて、その人々と触れ合う中で、仏教というものに改めてもう一度目を見開かされたところがありました。人々の生活の心の中心にしっかりと仏教がある。僕たちは常にここに実際に生きている人たち、その姿をどうやって映画の中に入れていくかをずっと考えてきました。例えばここ、山梨県の耕雲院という世間に触れ続けている最前線。今回の映画もそういうところがんばっている実際のお坊さんたちを中心に撮っていく映画になると思います。



僕らがこの映画を作るときに最初に共通認識として確認したのが、仏教というものを、自分たちの生活とかけ離れたところ、敷居が高いところで繰り広げられているものにしてしまつてはいけないということでした。今時代も変わりつつある中で、本当の意味で人々が信仰を求め始めたのではないか。それはつまり人間としての心を取り戻していくという作業だと思うので、敷居を下げて人々の普通に生きていく中での話になります。

**古屋氏**／厨房で食事を作っているシーンなどは、やはり食に通じているので、日常じゃないですか。誰だつてやることだし。日常から遠くにならないというのが、今回の映画の特徴だと思います。

## 撮影の様子

―撮影場所は？

**河口師**／大本山永平寺、大本山總持寺、無量寺（長野県塩尻市）、ここ耕雲院、そして天童寺（中国）です。

**富田監督**／耕雲院と無量寺というのが映画のシーンとしては一番多くなるかなと思います。

**河口師**／修行とかだけのシーンではなくて、実際のお坊さんたちがどのような活動をし

ているか、その実際の生活をどう表現していくか、それがこの映画の中で大事になります。だからあえてこういう普通のお寺で撮ろうという話になりました。

―撮影時の思い出は？

**富田監督**／永平寺は雪が積もりすぎて、その雪の上だからこそ撮れたアングルみたいなものもありました。

**古屋氏**／永平寺に山門があるじゃないですか。あそこは斜面になつているからどうしても見上げる形になつてしまふんだけど、雪が3メートルくらいあるから、そこに立つと正面から撮れてよかったですね。

**河口師**／その時も、雪の中で上山者が来るのを2時間も3時間も待つて、しかも上山者には私たちが撮影していることは分らないようにしなければいけなかったんで、そういう苦労はあつたと思います。

**向山氏**／事前に永平寺のドキュメンタリーとかを見ていたので、実際に見て、ああこういうところかと腑に落ちました。これは大変だと。

―青山俊董老師（無量寺東堂）の印象は？

**富田監督**／（映画の内容が）なかなかまとまらない中、青年会の方々にどなたかお話を



▶ 青山俊董老師の優しさには子ども心を引き寄せられます。  
○中国 天童寺での撮影。  
（写真右から）

聞いてみたい高僧の方はいますかと質問をしたら、青山老師ということで、それでお話を伺いに行きました。僕たちにとってその出逢いが非常に大きかった。青山老師の口から次々と語られた言葉で、ほんやりとしていたものがはつきりとしたといえますか、この映画のストーリーが完全にできました。

―中国での撮影の思い出は？

**富田監督**／（天童寺が）永平寺とそっくりでした！道元禪師はここに惚れたんだな、あの場所を日本に持ち帰つて創りたかつたんだなと、道元禪師の気持ちが伝わってきました。

**向山氏**／山との配置なんかもよく似てて。

**富田監督**／そういう自然なものの中に寺を合わせていく。自然と一体化せよ、ということが『典座教訓』の中にもあつて、食のことにもつながっていくことだと思います。

## 人との出逢い

**向山氏**／（中国の）人々は物腰が柔らかかというよりしなやかで、芯がある柔らかさを感じました。天童寺でアテンドしてくれた和尚さんも、大心と言うんですかね。大きな心で僕たちを見守つていてくれました。

**富田監督**／（撮影は）朝8時くらいから始めて、最初は3時間の約束だったんですけど、終わってみたら午後5時。それでも天童寺の和尚さんは、本当に嫌な顔一つしなかった。これはできることではない。何よりもその和尚さんの態度、その物腰、そこにすべてを見たと思います。そこにいる人がどういう人なのかということが一番大事ななんですよ。

日本の色々な状況なんか見ると、今後僕たち日本人の意識が変わっていかないといけない時代にあつて、仏教というものが非常に重要になってくると思うんです。（天童寺の和尚さんが示してくれた）深さはこれから大事になっていくんじゃないかと思えます。

ちょっと話が逸れますけど、僕は映画祭でヨーロッパなんかに行くと、若い人たちが僕が日本人だとわかると近寄ってきて「俺はすごい日本のことをリスペクトしているんだよ!」と言ってくれるんですよ。なぜかという、漫画やアニメなんですよ。若い世代というのは小さい時から日本の漫画とかに触れている。だから彼らは日本のことを知っていて、差別とかいう意識もない。それが僕らより年上の人になってくると全然違う。もちろん日本でも僕たちの親の世代になると、いとも簡単に人種差別的な文盲がボンと口から飛び出ることがあるんです。これから日本が変わっていくかざるを得ない状況の中で、何をもってそれを崩していくか。その中で、仏教というのは1

つ大きなきっかけになりうるんじゃないかと思ひ始めました。

**河口師**／『典座教訓』の中で有名な「椎茸典座」の話がありますよね。炎天下の中で老典座が汗をかきながら椎茸を干している。それを見た道元禪師が「そんなことは若い人にやらせたほうがよいのではないですか」と。（老典座は）「他はこれ吾にあらざ」。自分でやらなければしょうがないんだという話をされた。自分がやることに意味がある。

私も今回天童寺で、その和尚さんの姿が老典座に重なりました。天童寺の和尚さんが炎天下の中、嫌な顔せずにと私たちに付き合ってくださいました。まさにそれが老心、老婆心であり、私たちが描こうとしている「喜心・老心・大心」といった『典座教訓』に書かれていることでした。それが言葉ではなくて、天童寺の和尚さんから伝わってきた。それが今回中国に行つて大きく感じたことです。

**古屋氏**／基本的に言葉は通じないんですが、その口調とかでこちらに対する態度が伝わってくるんですよ。

**富田監督**／青山老師に沢山お話を聞かせていただきましたが、その中で1つ印象に残っているものに「人格相伝」というお言葉があります。勉強して頭の中に詰め込んだだけではダメなんだ、その人の全人格をもって伝えられる、その人の生き方そのものを人

◀取材日に偶然出くわしたご家族。  
○「典座」への全ての想いを取材する武田広報委員。  
（写真右から）



に伝える。それが天童寺の和尚さんからも感じられました。そういうのは、中国人とか日本人とかいう括りは関係なくなるじゃないですか。その人がどこでどのように生きているかにすぎないので。

## 生命をいただく「食」

—「典座」の役割とは？—

**河口師**／典座とは、もちろん料理を司るというのもあるんですが、ただ単に作るだけの料理人ではない。作る時、どういう気持ちでもって作るか、食材を生かしてどうおいしく食べていたただけるようにするか、そこに手間ひまをかける、思いを乗せる。食べてくださる方々の体を作るのが典座の役割です。体が調わないと心も調わないですよ。典座とは僕たちのすべての役割の中の1つとして欠かせないものです。

典座の心得は現代でも必要です。今はコンビニとかで何でも手軽に手に入る時代です。でも東日本大震災があった時に、今まで簡単に取っていたものが一気に目の前からなくなつた。そこで初めて気付いたんですよ。何でも手軽で便利だけどそれが当たり前ではない。今食事とは何なのかというのを考えてみると、典座の精神というのは常に意識しなければならぬ。それをどう伝えるかということで、精進料理教室や映画という形で典座の教えを徐々に広めていければなと思つていきます。

—精進料理に対する人々の関心は？

**河口師**／高いと感じます。お坊さんが精進料理教室をやるとするのは、(料理教室を始める)当時ありませんでした。それが徐々に広まって、今ではおかげで告知するとすぐ定員に達してしまうような状態になっていて、ニーズがあるんだと感じています。面白いなと思ったのが、料理教室にプロの料理人がけっこう来る。なぜかと聞いたら、私たちは別に技術を学びに来ているのではない、精進料理に対する心得を学びに来ているんだとおっしゃっていました。

—監督は、映画を作っている中で「食」に対する意識は変わりましたか？

**富田監督**／とても変わりました。これも青山老師のお言葉ですが、精進料理といって肉を食べないということだけでは、それは違う。菜っ葉1枚、米粒1つ生命なんだという話を聞いた時に自分の中でわかまっても消えませんでした。僕がその時に思ったのが、やはり現代社会というのは、肉を食べるにしても、僕たちは処理されたものを買ってきて食べる。そうするとそこには思いが入らないんですね。生き物を絞めていたかどうかという部分を僕たちは持たないで口にすることになるわけです。だから捨てることも簡単になるし、手を合わせる気持ちも薄れていく。

例えばモンゴルに行った時、野菜というものが入らない人たちが、家畜とともに生活をして、最終的にその家畜も大切に自らいただいていく。そこには思いがある。だから別に肉を食べないことが偉いことではない。米を炊くにも菜っ葉1枚切るにも、同じ生命なんだと考える。この教えというのは「食」とかそういうことにとどまらず、あらゆるすべてのことにつながっていく。仏教という思想を考えた時の根本になることだなと思いました。

**古屋氏**／モンゴルだったら野菜が採れないとか、国によって食の事情が違う。そこで先ほど正洋くん(向山氏)が言っていた、芯が通っている、そうすればしなやかに成れる。その根本があればそこは大丈夫なんだよというのが、青山老師がおっしゃっていたことなのかなと思います。

### 今求められるお寺のあり方とは

**富田監督**／映画のいいところというのは、1カ所に人々が集まって同じ画面を見つめることだと思っています。人が1カ所に集まる場所がどんどんなくなってきたりしていませんか。例えば核家族と言われて、1人が1部屋を持って1部屋にテレビが1台あって、今はもはやこのモバイルフォンで部屋を出てすら画面がどこにでも付きまわってくる。その行き着いた先には、むしろ人とのつながりを求めている時代なの

ではないかと思うと、やはり人が1カ所に集まる場所というものが大事になってくる。

お寺さんというのは、本来であればそこに自然に人々が集まってきて、リラクセスしたり、物思いにふけったりする場所というほうが本質にかなっているのではないですか。僕は(このお寺の)孫なので本堂なんかは小さいころは遊び場だったから、僕にとっではお寺さんは敷居の高くない場所なんです。ふらっと行きたくなって心が落ち着く場所みたいな。現代社会を生きていたら常に何かを考えている。何も考えずに脱力して何もしない状態を自分の中で作り出すということが、どれだけ難しいことなのか。そういう贅沢な時間を得るのに最適な場所となれば、それは非日常を味わうということにもなるかもしれないけど、そういう静かな場所です。リラクセスできる場所というのはなかなかないですよ。

**河口師**／日本のお寺に人がどういう形で来るかといったら、お葬式とか法事とかそういう供養の時しか手を合わせに来ない。でもタイのお寺や中国の天童寺を見て、僕の中の意識が変わってきました。人々の祈りの場であったりとか心の安らぎの場であったりとか、それがお寺の本質なのかな。だからこそ今のお寺の方向性としては人が集える場所、来やすい場所。もちろん「敷居は高く、門戸を広く」と、お寺の質は落とすてはダメだとおっしゃる方もいて、僕もそこは大事だと思っています。

### 映画の展開

—映画の今後の予定は？

**河口師**／今年秋に完成予定で、11月の世界大会での上映に向けて作っているところ。そこからは各地で上映をして広がっていったらと考えています。またDVD化を考えていますので、各お寺で人を集めて映画を上映する機会を作っていただければと思います。

**富田監督**／僕らの空族という映画のチームのほうにも色々なところからすでに上映依頼が来ているので、映画の界限での展開も考えています。あとは当然映画ということになれば各映画祭にチャレンジしていくという計画もあります。全国のミニシアターでの劇場公開にもっていかたいという思いもあります。ただそのためにはある程度の尺が必要になる。30分だと劇場公開は難しいので、それなら別の方法を考えます。

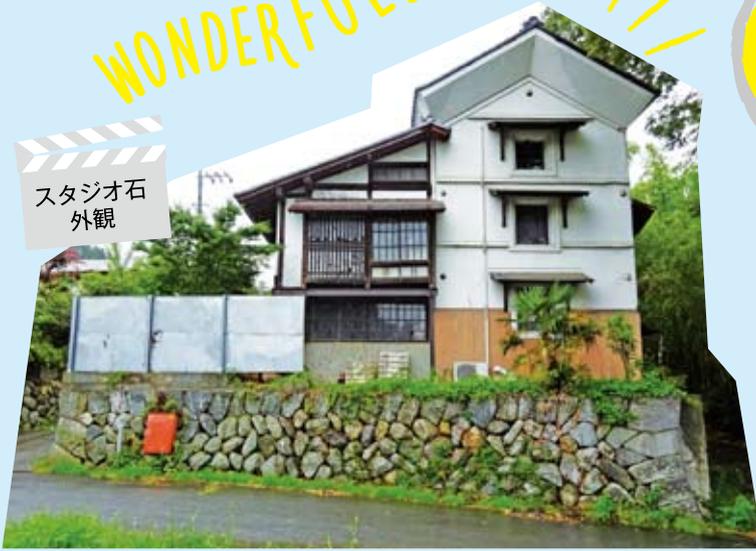
とにかく内容がいいことが最優先です。最初にこうすると決めてしまうと内容が窮屈になるので、今はいいものを作って、そのできあがったものの中でそれに合わせた拡散法を考えたいと思っています。

—ありがとうございます。

文／広報委員 武田信光  
写真／広報委員 井口昭典

WONDERFUL!

スタジオ石  
外観



## スタジオ石潜入取材

今回の映画作りを支える映像制作会社「スタジオ石」に潜入取材を敢行しました。そこには驚くべき光景が!?

建物は、もとは向山氏の曾祖父の代に建てられたもので、築80年以上が経過。外から見ると、左側が居住スペース、右側が蔵で、住まいと蔵が一体化している。3階建ての蔵はなかなか珍しい。

蔵入口



朽ちていた建物を自分たちで改装し、今は向山氏がスタジオ兼住居として使用している。入口の部屋は、古民家がリノベーションされて落ち着いた雰囲気が広がっていた。

スタジオ  
入口



その隣に目を転じると、重厚な蔵の扉が見えた。ここ笛吹市はぶどうなどの果樹栽培が昔から盛んで、もとはワインを貯蔵する蔵として使われていたそうだ。その蔵の中が改装され、今は作業スペースとなっている。

蔵2階  
にも扉



蔵の2階に上らせたいと、驚いたことに2階にも重厚な扉が。その奥には蔵の中とは思えない光景が目に入ってきた。

蔵3階



蔵座敷



蔵の中に畳敷と床の間が出現! 「蔵座敷」と呼ばれ、商家などが防火性能に優れた蔵の中に上質な居住空間を造ったとのこと。東北地方に多く見られるそうだ。

さらに3階に上ると、巨大な梁が出迎えてくれた。向山氏の曾祖父が昭和9年に上棟した旨が堂々と墨書されていた。

### スタジオ石

山梨県笛吹市。名前の由来は「石」という地名による。2010年ごろに設立。映像制作を手掛け、今は主にミュージックビデオの制作が多い。向山正洋氏と古屋卓磨氏が主なメンバー。

取材に応える向山氏。古民家と漫画をこよなく愛する。お忙しい中、スタジオの中を細部まで案内していただき、ありがとうございました。





## 第29回WFB世界仏教徒会議 第20回WFBY世界仏教徒青年会議

# 日本大会開催！

**世界仏教徒青年会議が  
10年ぶりに日本で開催！**

来る11月5日～9日、公益財団法人全日本仏教会財団創立60周年記念事業「第29回WFB世界仏教徒会議・第20回WFBY世界仏教徒青年会議日本大会」（以下、世界大会）が、ホテルマロウドインターナショナルホテル成田を会議場、そして大本山總持寺を記念式典会場として開催されます。全日本仏教青年会（以下、全日仏青）は、世界大会における世界仏教徒青年会議を主催し、他すべての期間中の運営を、全日本仏教会（以下、全日仏）とともに行ってまいります。

**世界の仏教徒が一堂に会する祭典  
「世界大会」について**

世界仏教徒連盟（以下、WFB）は、世界の仏教徒が交流友好親善を図るとともに、仏陀の崇高な教義の普及と世界平和への貢献を目的として、1950（昭和25）年に設立された世界最大の仏教会です。同じく、世界仏教徒青年連盟（以下、WFBY）は、1972（昭和47）年WFB内で発足した、世界最大

の仏教青年会です。日本においては、全日仏が唯一のWFB日本センターを、全日仏青が唯一のWFBY日本センターをつとめています。設立以来、WFB・WFBY最高の議決機関である世界仏教徒会議が2年に一度、各国の持ち回りで開催されており、またその機会に仏教興隆をはかるため、式典や法要、イベントなどが開催されます。

**曹洞宗が一丸となって挑む  
日本での「世界大会」**

全日仏の会長に大本山總持寺貫首江川辰三猥下が、理事長には釜田隆文宗務総長がご就任されました。名実ともに曹洞宗が担当する全日仏が、財団創立60周年記念事業として、当大会を運営することとなります。曹洞宗が一丸となり日本仏教界、国際仏教界に向き合うこの勝縁に際し、WFBY日本センターを担う全日仏青の理事長を輩出する全曹青も、全力で大会の成功に向けて尽力してまいります。

文／全日仏青特別委員会事務局長  
全日仏青事務局長 内藤宏信



2年前に開催された韓国大会の様子

2018年11月5日(月)～9日(金)



メインテーマ  
**慈悲の行動**  
COMPASSION IN ACTION

サブテーマ (シンポジウムテーマ)  
しょうじ  
**生死の中に見出す希望**  
CREATING HOPE IN LIFE AND DEATH

11月5日～8日…………マロウドインターナショナルホテル成田  
(諸会議・総会・開会式典・歓迎レセプション)

11月9日……………大本山總持寺  
(記念法要・記念式典・仏教イベント・シンポジウム・閉会式)



# 「仏教×SDGs×音楽」

「持続可能な社会、を寺院が中心となり創造していこう！」

全日仏青では、世界大会記念事業の一環として、また2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、日本仏教の価値を世界へ発信すべく、11月10日（土）に大本山總持寺を会場とし全国大会を開催いたします。全日仏青今期スローガン「慈悲の行動～日本仏教の今を世界へ～」に基づき、貧困やジェンダーなど現代社会が抱える諸問題に対し国連で採択された国際目標『SDGs』が目指す「持続可能な社会の実現」に向けて、仏教界を中心とする新たな枠組みを国内外へ提示し、様々な企業・団体とともに境内イベントやブース出展を企画しております。

## シンポジウム

# 「仏教×SDGs」 持続可能な社会の実現に向け、 日本仏教ができること



特別ゲスト／東ちづるさん

「少欲知足」「自利利他」「智慧と慈悲」—先人たちの努力により脈々と守り継がれてきた仏教には、真に持続可能な社会を実現していくために必要不可欠な智慧や視点が満ち溢れています。それらの財産を携え、私たちは今、SDGsという新たな「ものさし」を手にどう生きていくべきか、社会的課題や人々の声に真剣に向き合おうと試行錯誤を続ける青年僧を中心とした仏教界の新たな取り組みや、「女性が創るお寺の新時代」といった新たなテーマにも触れながら、有識者による議論を通じてその方向性を探ります。

【会場】 三松閣4階 大講堂 入場無料

【時間】 10:00～12:00

【パネリスト】

長島美紀…一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク業務執行理事／  
認定NPO法人Malaria No More Japan理事／政治学博士

松崎香織…一般社団法人未来の住職塾理事／  
特定非営利活動法人おてらおやつクラブ広報

朝倉由希…真宗高田派浄善寺次期坊守／  
文化庁地域文化創生本部研究官

【ファシリテーター】細川晋輔…臨済宗妙心寺派龍雲寺住職

【特別ゲスト】東ちづる…女優・タレント／一般社団法人Get in touch代表

## 宗派を超え、五大へ響く 「仏教音楽祭」



【会場】 大祖堂

【時間】 西川悟平ピアノ&トーク奉納コンサート  
13:00～14:15

休憩（14:40より雅楽演奏開始）

世界平和祈念「仏教音楽祭一流音月聲」  
15:00～17:00

【出演団体】 真言宗豊山派仏教青年会 豊山太鼓「千響」

翻山青年連合会 吹螺師

金剛流合唱団（ご詠歌）

浄土宗大本山 増上寺雅楽会

時宗 声明

天台仏教青年連盟

三重県曹洞宗青年会和太鼓集団「鼓司」

【出演者】 服部博之（太鼓）

中井智弥（二十五絃箏）

【参加費】 S席 10,000円／A席 7,000円／B席 5,000円

チケットのお求め・お問い合わせ

仏教音楽祭専用ダイヤル 0120-97-9208

（9:00～18:00 平日のみ）



司会／木佐彩子さん



友情出演／  
早乙女太一さん（舞踊）

公益財団法人日本青年会議所(JCI) 協働イベント

# 「SDGs × 寺院 × スポーツ」

寺院の持つ地域コミュニティとの強い繋がり、スポーツが持つコミュニティを強化するチカラを掛け合わせることで、持続可能な社会の実現に向けた新たなロールモデルを提案します。



## 3×3(スリーバイスリー)

東京オリンピック2020正式種目であり、3対3で行われるハーフコートのバスケットボールです。寺院と地域が連携したスポーツ振興プロジェクトを目指します。

【会場】大駐車場



## ボッチャ体験

「ボッチャ」は東京パラリンピック2020正式種目であり、的球に互いの球を近づけることを競う年齢や障がいに関わらず楽しむことが出来るスポーツです。

【会場】大祖堂前



## 仏殿イベント

国内外に誇る総持寺大雄宝殿(仏殿)を中心に様々なイベントを催します。



## アートイベント

佐賀県の曹洞宗寺院出身のアーティスト・三浦祥敬さんによる手紙をモチーフとしたアートパフォーマンス!

仏殿に「言霊のレストラン」が出没します。メニューに載っているのは「言葉」のみ。食べ物飲み物は出ないゆらぎの空間が現出します。1回

10分で体験できる仏教思想を参照したアートパフォーマンスです。



三浦祥敬さん



## 音楽

音楽ユニット「えびす大黒」による子どもたちの音楽ワークショップ、奉納演奏を行います。

※「えびす大黒」…梶原徹也(元ザ・ブルーハーツDrs.)、陽介(元鼓童)によるユニット。

【会場】仏殿前

【時間】10:00 ~ 12:30



えびす大黒



## ヨガ

近年、寺院でのヨガ開催が増えてきています。総持寺仏殿前の芝生の上で、藤本美貴さんをお迎えして青空ヨガを開催いたします。

【会場】仏殿前

【時間】14:00 ~



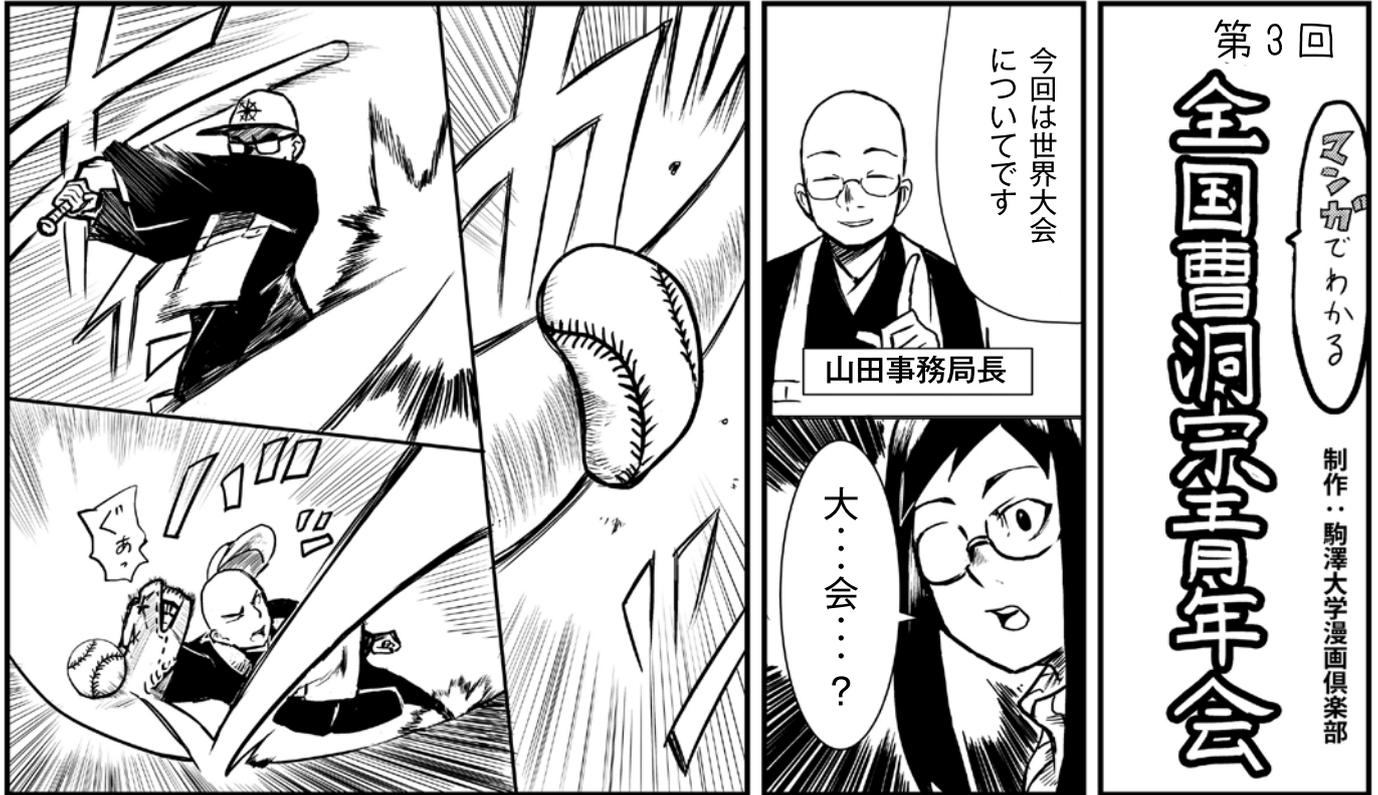
藤本美貴さん



## 禅文化学林も同時開催!

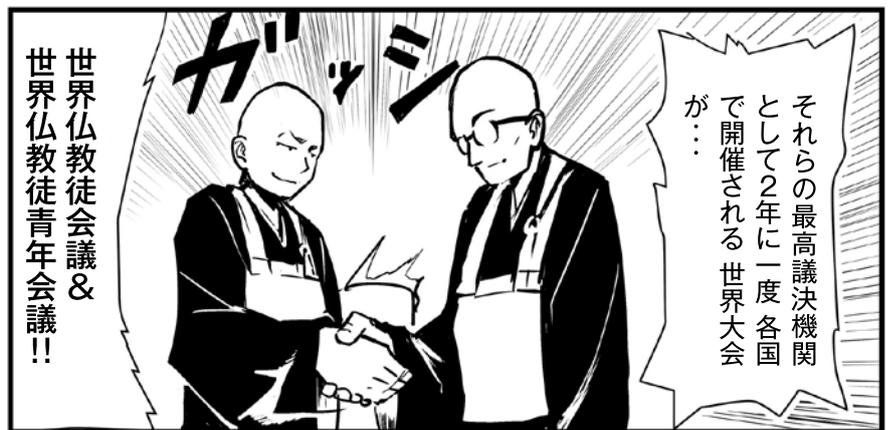
全曹青では、この機会に併せ禅文化学林を開催し、広く会員にご案内いたします。短編映画『典座 -TENZO-』の完成試写会も行う予定です。多数のご参加をお待ちしております。宗派を超えた活動は、新しい価値観が生まれるとともに現代社会への接点として繋がっていきます。大衆教化の接点を求めて、「禅を世界へ、そして未来へ」と繋げる機会とすべく、全日仏青と連携し活動してまいります。

その他境内各所では、全日本仏教青年会加盟団体やNPO・ボランティア団体によるブース出展を始めとして様々なイベントが催されます。



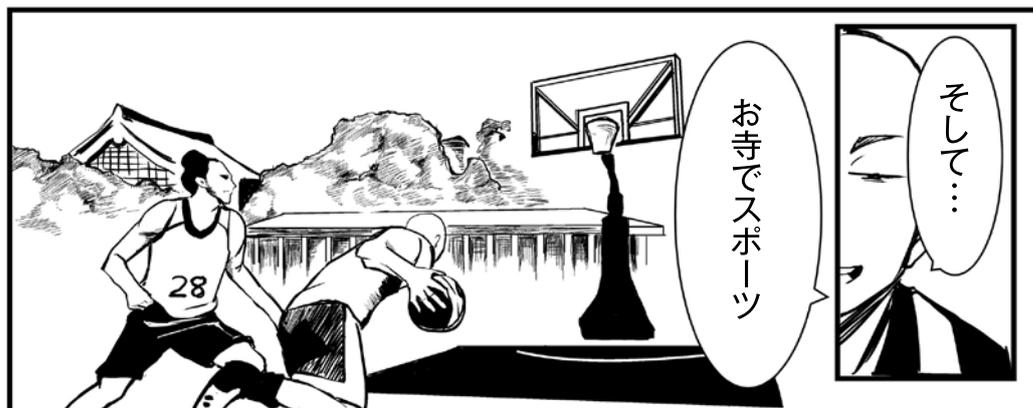
## ・世界仏教徒会議 世界仏教徒青年会議について

設立以来、WFB・WFBY最高の議決機関である世界仏教徒会議が2年に一度、各国の持ち回りで開催され、様々な仏教活動報告とともに、役員改選、組織の見直しを行ってまいりました。この世界仏教徒会議の招聘に成功した加盟国は、その機会に自国の仏教興隆をはかるため、通例、式典や法要、イベントなどを積極的に開催いたします。世界仏教徒会議が通称・世界大会と呼ばれる所以です。



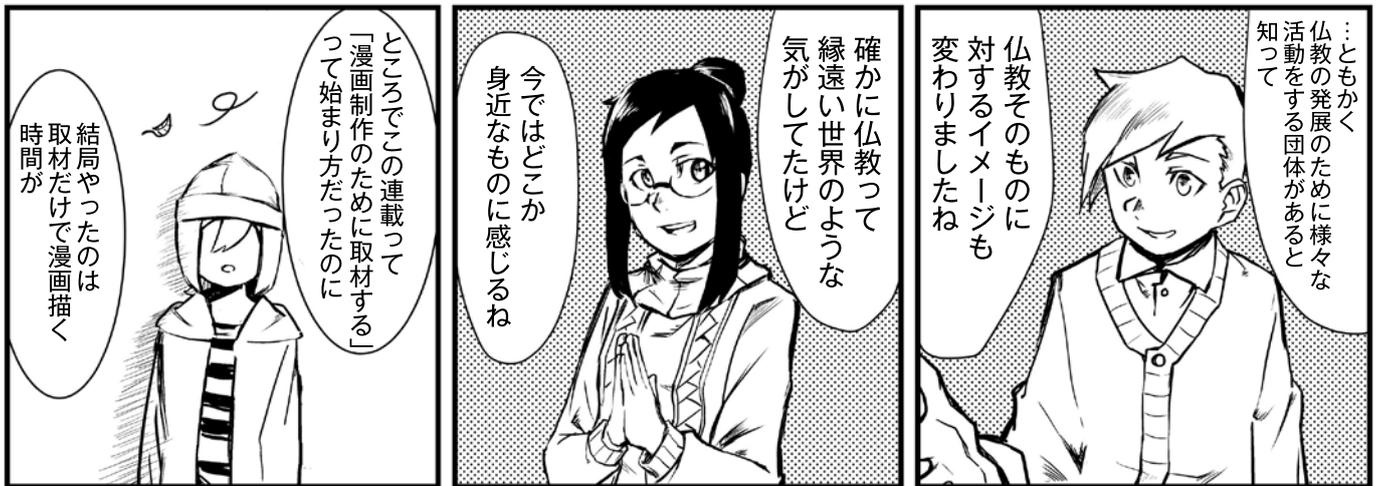
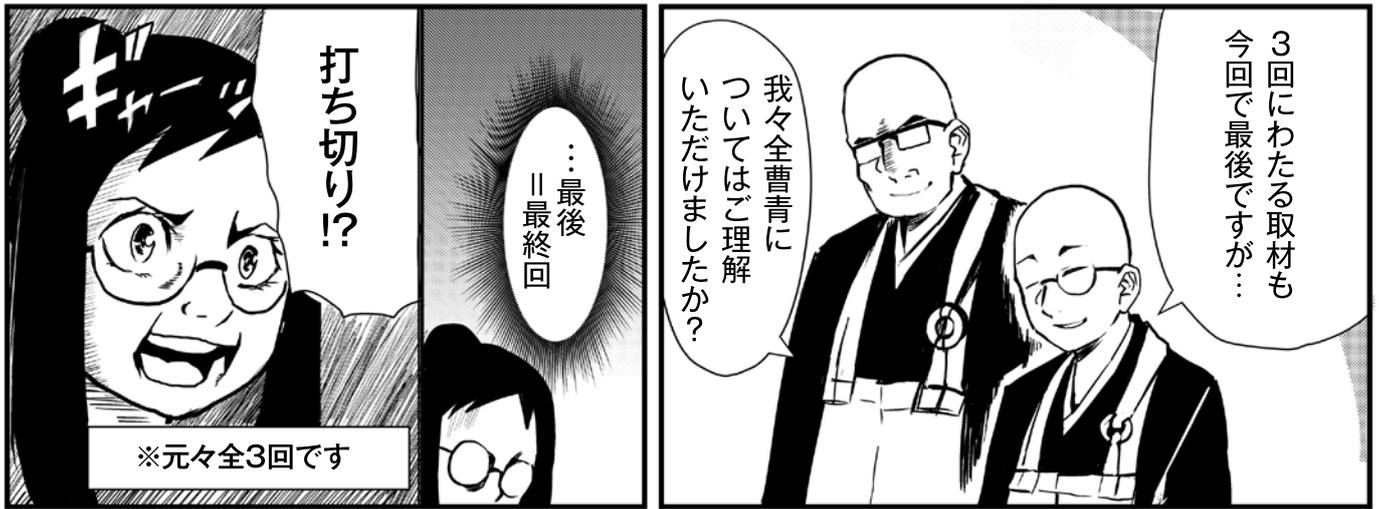
## ・世界仏教徒連盟 世界仏教徒青年連盟について

世界仏教徒連盟(以下、WFB)は、世界の仏教徒が交流友好親善を図るとともに、仏陀の崇高な教義の普及と世界平和への貢献を目的として、1950年に設立された世界最大の仏教会です。同じく、世界仏教徒青年連盟(以下、WFBY)は、1972年WFB内で発足した、世界最大の仏教青年会です。現在、ともに本部をタイに置き、WFBは世界41ヶ国から約200の地域センターが、WFBYは世界16ヶ国から約40の地域センターが加盟しています。日本においては、全日仏が唯一のWFB日本センターを、全日仏青が唯一のWFBY日本センターを務めています。



## ・世界大会開催記念 全日仏青全国大会について

会場の總持寺(神奈川県横浜市鶴見区)は曹洞宗の大本山であり、1321年(元亨元年)以来の歴史を持ちます。短編映画『典座-TENZO-』試写会は平成30年11月9日と10日、仏教音楽祭は11月10日にそれぞれ總持寺で開催されます。その他にも仏教にまつわる様々な企画が準備中です。



# レポート全書

\*スマホをかざして文末のQRコードを読み取っていただくと、当日の詳しい様子をご覧いただけます。

## 平成30年度 定期評議員会・中央研修会・定期総会

5月18日に曹洞宗檀信徒会館にて平成30年度定期評議員会・中央研修会・定期総会が開催されました。評議員会・総会ともに全ての案件に承認いただき、第22期の2年目がスタートいたしました。

今期製作中の短編映画『典座(TENZO)』の中間報告が行われ、また第23期の会長に第

22期副会長の原知昭師(いずも曹洞宗青年会所属)が選出され、承認されました。

また、本年度より曹洞宗山形県第三宗務所青年会が新規加盟団体となりました。

中央研修会では、臨床宗教師特別委員会シンポジウム『アナタはなぜ、苦悩する方とともに歩み、ともに悩むことを願うのか』が行われ、一般聴講者も含め多くの参加者が集いました。



## 熊本地震復興祈願・物故者供養法会

4月12日、午後3時より、熊本市浄国寺で、熊本県第一宗務所副所長の中山義紹老師が導師を務め、「熊本地震復興祈願・物故者供養法会」が厳修されました。

全曹青からは倉島会長と安達顧問が参加し、全日仏、全日仏青、浄土真宗本願寺派からの

参加者、そして九州各県から集まった総勢60人の僧侶たちとともに震災被害からの復興と、お亡くなりになられた方々の冥福を祈りました。熊本県第一宗務所長の田中孝典老師が挨拶に立たれ、「早いもので14日で震災から丸2年が経ちます。その後の関連死を含めると実に100人ほどの方が亡くなったわけです。本日はその方々の御霊を皆様とともに供養できましたこと、とても有難く思っています」と述べられました。

法要の後、薬石では避難所の炊き出しで出していた「アルファ米」が振る舞われ、ポランテア参加時のことを思い出しつつ、参加者それぞれが震災の経験について想いを馳せました。



## 『味来食堂』×『ヨガ坐禅』 曹洞宗檀信徒会館で開催

4月15日に『味来食堂』×『ヨガ坐禅』が曹洞宗檀信徒会館において開催されました。

参加者16人は、ヨガインストラクターの佐藤ゴウ氏によるヨガ講習の後、坐禅を行いました。参加者の中には坐禅を組むのが初めての方もいましたが、近藤教化委員長の坐禅指導のもと一同が心を静めました。

ヨガと坐禅を終えて、味来食堂の講師による精進料理を2時間のゆっくりとした時間をかけて食し楽しめました。

午後からは、佐藤ゴウ氏と河口副会長による対談が行われ、参加者の意見にも丁寧に耳を傾け、ヨガと坐禅の共通性や食事をテーマに対談が進められました。佐藤氏か



らは、「五観の偈」より考える食の大切さの思いを伝えていただき

ました。河口副会長は、自らの坐禅修行を踏まえ参加者にわかりやすく禅の良さを説かれました。

精進料理を通じて普段の食生活を見直すことができたなどの声をいただきました。



## アースデイ東京2018

4月21日・22日に都内・代々木公園で環境イベント「アースデイ東京2018」が開催され、曹洞宗から「Earth禅堂2018」の出展が行われました。

当日は坐禅や匂い袋づくり、ピースプレスレットづくりのワークショップ、御朱印コーナー、子どもかるたや塗り絵ができるキッズスペース、そして受付中央には花御堂が設置されました。そして全曹青からも写経と写仏の体験、短編映画『典座(TENZO)』のプロモーション映像を出展し、多くの方々に来場していただきました。



# 全日仏青 News



晴天のもと、4月26日(木)奈良県東大寺

大仏殿で、仏法興隆と世界の平和を願って「仏法興隆花まつり千僧法要」が今年も開催されました。この法要は全日本仏教青年会(以下、全日仏青)が主催して、昭和63年4月26日より毎年続けられています。今年は30周年記念として、全国曹洞宗青年会各加盟団体からも例年より多い200人近くの僧侶が参集しました。そして、全国各宗派の僧侶、また一般参加者と共に、宗派の垣根を超えてお互いを尊重し合い、祈りの行動を共に行いました。

9時30分より、アシヨカピラー周辺清掃を行い、1年間の苔や汚れをきれいにしました。

その後、各宗派それぞれの法衣に着替え、約500人の僧侶が行列を組み大仏殿に向かいました。多くの国内外の観光客や修学旅行生が、僧侶の行列に驚き、カメラを向ける方、合掌される方がいました。大仏殿では、全日仏青理事長も務める倉島会長導師のもと、厳粛な法要が行われ、特に僧侶が一同に『大般若波羅蜜多經』600巻を転

読する姿は神々しく感じました。法要後、三帰依文を唱和する中で、大仏殿唐破風より世界平和を祈る10,000枚の散華が撒かれました。唐破風からの散華は、東大寺において大切な節目の大法要でのみ実施されています。僧侶の唱和する声と、風に舞う散華が圧巻でした。大仏殿での法要後、アシヨカピラー宝塔前にて誕生仏に甘茶をかけ、お釈迦様の誕生をお祝いしました。

また、30周年記念として、奈良芸術短期大学学生によるパネル製作、東大寺学園幼稚園園児による歌の奉納が行われました。そして、昨年に引き続き「千僧法要奉納書道展」を開催し、全国より153作品が寄せられました。

30周年という記念の節目にあたり、改めて発願当時の思いを巡らせながら、多くの方々と仏法興隆並びに人類共通の目標である世界平和の祈りを捧げることができました。参加者のみならず、日本人・外国人問わず多くの観光客も足を止め共に合掌をし祈りを捧げている姿に心が熱くなりました。法要後は会場を移動し、30周年記念式典が開催されました。

※：全日仏青Facebookに当日の写真が掲載されています。合わせてご覧下さい。

文／広報委員長 西古孝志



## 30周年『仏法興隆花まつり千僧法要』

—慈悲の行動 世界平和の祈り—



撮影：加納フォト

# 宗教法人会計普及に向けて

## 第3回・最適セールス・ミックス

という考え方  
(どの商品をどのように売るか)

学校法人 大原学園理事長／中川和久

# 資格の大原 就職の大原

第3回は、決算書作成からさらされる各種会計情報のうち、まず収支差額について考えてみましょう。

前回もお話をさせていただきましたが、資金状況を充実させるためには、収入や支出を日々記録・計算し、資金状況を常に把握しておく必要があります。この収支差額を考えた運営については、ご意見のあるところかもしれません。経営学者の「ロードラッカー」は、次のように言っております。

「利益(収支差額)とお考えただいて結構です」とは、企業が事業を継続・発展させていくための条件である。明日さらに優れた事業を行なうためのコスト、それが利益である。つまり、利益がなければコストを賄うことも、リスクに備えることもできないし、人を雇用することもできません。したがって、利益を上げることが企業にとっての第一の社会的責任であるということです。

逆に利益を獲得することが事業の目的になると、利益至上主義が組織内に蔓延し、品質低下や不正会計など、今現に起きている事象が生じることになります。

学校法人である大原学園を例にいたしますと、目的は、学生・受講生の「幸せな就職」と「各種資格試験合格」です。そのために、様々な教育を施しておりますが、その教育を行うには、校舎を建て維持し、教材を作

成し、教職員を雇うためなど必要な支出を賄い、さらなる成長につなげるための原資となりうる収入が必要です。有り体に言えば収支差額がプラスの状態であることが必要となります。

しかし、収支差額の獲得を目的にして教育を疎かにすると、途端に教育レベルの低下が起こり、大原学園に対する

信頼が失われることとなります。これでは、本来の目的を達成できずに、本末転倒と言わざるを得ません。それでは、限られた経営資源を活用してどのように本来の目的を達成し、事業の継続発展を図るのか、経営学的にも様々な考え方が存在するのですが、ここでは、会計学的な視点から、「最適セールス・ミックス」という考え方を一つご紹介したいと思います。

一般企業でも、人や時間等、経営資源には限りがありますので、どのように利益を最大化するかは重要なテーマです。今回ご紹介する「最適セールス・ミックス」という考え方は、「ある制約条件のもとで、もっとも利益があがる組み合わせ」というものですが、本来の目的を損なわずに利益の最大化を図るためには有益な考え方といえます。次に簡単な事例を使ってその考え方を説明します。

【例】

	消しゴム	ボールペン
1個あたりの販売額	100円	200円
1個あたりの変動費	40円	110円
1個あたりの生産時間	20分	60分

※変動費=材料費とお考えください

	消しゴム	ボールペン
1個あたりの限界利益	60円	90円

※限界利益=販売額-変動費

	消しゴム	ボールペン
1分あたりの限界利益	3円	1.5円

※限界利益÷生産時間

非常に簡単な例となりますが、文房具の製造販売を行う会社の経営者の立場で考えてみるとどの商品に力を入れるべきか、皆さんならどのような判断を下すのでしょうか。もし、販売額が高く一見儲かりそうなボールペンの生産に力を入れた場合、生産時間1分あたりの限界利益は消しゴムの半分となり、大変非効率となります。

販売数量に制限がなければ、消しゴムだけを生産した方が、生産効率が高いということになります。ただし、予想販売量以上のものを作っても売れ残ってしまうことになり、残りの時間(工場の稼働時間)でボールペンを生産するのが最大の利益をあげることに繋がります。

前述したとおり、実際には制約条件として、販売数量・工場の稼働能力・従業員の数等々あるため、もう少し計算は複雑になっていきます。

このように、いくつかの制約条件のもとでもっとも利益が上がる組み合わせをえるという最適セールス・ミックスの思考を持つことにより、経営課題解決の端緒をつかむことが期待できます。

なお、この最適セールス・ミックスを考えるうえでCVP分析(Cost-Volume-Profit Analysis)という会計情報の活用方法があります。これは、損益計算における特定項目の一部を変化させた場合に、損益がどのように変化するかを分析する方法です。要するに、売り上げが二倍になったからといって必ずしも利益も二倍になるわけではないということを説明したいときに使います。

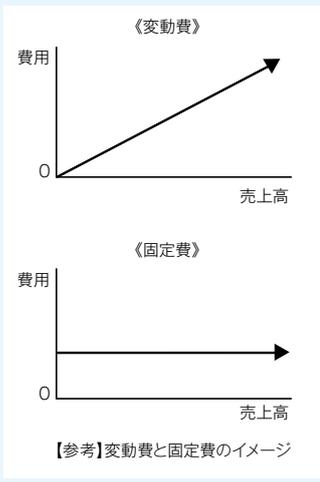
CVP分析では、費用を変動費と固定費に分類する点に特徴がありますが、変動費とは、製品の原材料費などのように売上高が増加すれば比例的に増加する費用です。

CVP分析用 損益計算書

売上高※2	2,000円
変動費※1	1,200
限界利益	800
固定費※1	700
営業利益※3	100

※1 (Cost)=原価(変動費+固定費)  
 ※2 (Volume)=販売量(売上高)  
 ※3 (Profit)=利益(営業利益)

また、固定費とは、売上高の増減に関わりなく、一定額発生する費用です。人件費や支払家賃等が該当します。



さて、前掲の損益計算書の売上高が50%増(二千円増)となった場合の次の損益計算書と比較してみましょう。

CVP分析用 損益計算書

売上高	3,000円
変動費	1,800
限界利益	1,200
固定費	700
営業利益	500

※売上高の60%が変動費

売上高が50%増加したのに対し、営業利益は400%増加しています。つまり、売上高と営業利益は必ずしも比例しません。

このように、CVP分析で使用する損益計算書は、費用を変動費と固定費に分類表示しているため、「変動損益計算書」とも呼ばれ、売上高・費用・利益の相関関係が明らかにになり、利益計画等の将来の予測計算を容易に行うことができ、様々な意思決定に役立つ情報が提供できる活用例の一つです。まさに決算書作成により得られる会計情報は企業の羅針盤ともいえる大切な情報源なのです。



九州曹洞宗青年会総会 大分大会記念写真

## 第48回九州曹洞宗青年会総会 大分大会

平成30年6月12日、大分市のアリストンホテル大分で、『第48回九州曹洞宗青年会総会 大分大会』を開催しました。

午後1時より受付開始、午後1時30分より開講諷経・被災物故者供養が厳修されました。

午後2時からは定期総会が行われ、総会の冒頭では九州曹洞宗青年会会長の角田仁哉師、全曹青の倉島会長がそれぞれ挨拶に立ちました。角田会長は九州管区に災害対策用のストックヤードを設置すると述べました。倉島会長からは短編映画『典座

』の進捗状況、11月に予定されている『世界仏教徒会議・世界仏教徒青年会議日本大会』の案内がありました。

午後3時からは大会記念講演が行われました。『日本のちの教育学会』会長の近藤卓氏を講師に迎え、『自尊心と共有体験』向き合う関係と並ぶ関係』と題した講演がありました。

午後6時30分からは懇親会が開催されました。懇親会では『九州曹洞宗青年会ボランティア義援金』の寄付を募り、多くの募金をいただきました。

## 『ナムナムぬりえ』の頒布を開始

全曹青では、子どもさんが仏教や寺院行事に楽しみながら親しめるぬり絵冊子『ナムナムぬりえ』の頒布を開始しました。

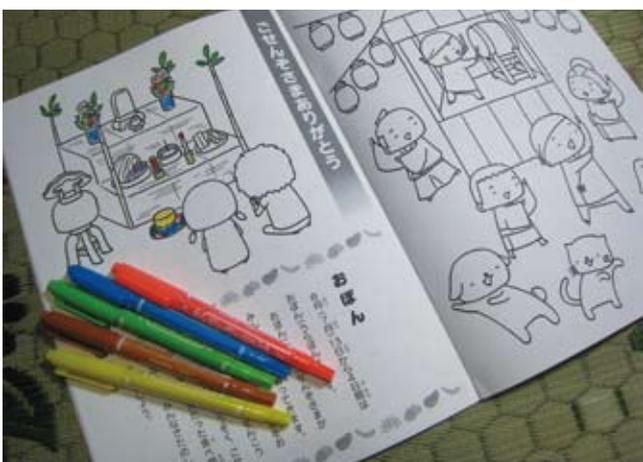
『ナムナムぬりえ』は子どもさんが普段あまり触れる事がない三仏忌や身近な仏様・仏教行事を、山形県秀林寺・遠田旭有師原画で可愛らしいぬり絵を制作し、各ぬり絵には仏教と禅の教えに触れることが出来るイラストと解説が付いています。子ども坐禅会や法要での記念品としてお使い下さい。また、子ども坐禅会等ではぬり絵に

そってお話をいただく事で理解が深まり、より仏教と寺院に親しむを持つ事に繋がります。

ます。ぬり絵は年間を通してその月々にお使いいただけるように、12種類を収録しており幼稚園や学校行事での教材としてお使いいただけます。また、ぬり絵はストレス解消や脳の活性化が期待されるなど幅広く活用され世代を問わず広く布教教化にお使

いいただけます。ぬり絵を通して仏教や寺院への理解を深め、その教えに触れる事で心身の安寧と子どもさんの健全な成長に寄与し未来への仏種を育む一助となる頒布物となっております。

『ナムナムぬりえ』頒布価格300円



九州各県より多数の参加者が集い、親睦を深めました。次期開催宗務所は宮崎県となります。次期大会においても大会が円満に開催される事をお祈りいたします。

文／広報委員 田ノ口太悟



記念講演講師  
日本のちの教育学会会長 近藤卓氏

# 短編映画『典座-TENZO-』協賛金感謝録

◆特別協賛  
ピーエスグループ会 様  
(神奈川県)  
曹洞宗山梨県宗務所 様  
(山梨県)  
兵庫県第一宗務所  
寺族ボランティア会 様  
(兵庫県 1)

◆東京都

42 慈眼寺 様  
388 源照寺 様

◆神奈川県 2

150 定方寺 様

◆埼玉県 1

161 建福寺 様

◆埼玉県 2

336 永福寺 様  
345 成安寺 様

◆群馬県

53 宝林寺 様  
167 祥雲寺 様

◆栃木県

202 明林寺 様

◆茨城県

92 宝積寺 様  
134 大統寺 様  
182 龍心寺 様  
197 長龍寺 様

◆千葉県

121 寶林寺 様  
133 永昌寺 様  
205 真如寺 様  
212 真光寺 様

◆山梨県

45 永昌院 様  
206 高前寺 様  
245 青原院 様

248 廣禪院 様  
267 福昌寺 様  
272 棲月院 様  
277 光彩院 様  
287 本光寺 様  
406 光福寺 様  
453 金剛寺 様

◆静岡県 1

26 宝珠院 様  
109 玉泉寺 様  
136 眞如寺 様  
208 延命寺 様  
388 林叟院 様  
421 盤脚院 様

◆静岡県 2

329 永昌寺 様  
332 龍雲寺 様  
362 福泉寺 様  
363 観音寺 様

◆愛知県 1

28 長松院 様  
101 成福寺 様  
179 仙壽寺 様  
219 千松寺 様  
375 春江院 様  
635 永澤寺 様  
668 常樂寺 様

◆愛知県 2

829 醫王寺 様

◆愛知県 3

431 報恩寺 様

◆岐阜県

144 萬嶽寺 様  
161 善昌寺 様  
217 本覚寺 様  
237 瑞巖寺 様

◆三重県 1

37 四天王寺 様  
269 大蓮寺 様  
276 地藏院 様

315 葉師寺 様

◆三重県 2

375 大仙寺 様

◆京都府

67 苗秀寺 様  
(株)柴玄法衣仏具店 様

◆大阪府

14 慈光寺 様

◆兵庫県 1

19 楊林寺 様  
55 長命寺 様  
287 向榮寺 様  
333 少林寺 様  
337 友松寺 様

◆兵庫県 2

134 谷松寺 様

◆岡山県

128 楊柳寺 様  
130 蓮性寺 様

◆広島県

62 善興寺 様  
100 中興寺 様

◆鳥取県

1 興雲寺 様  
206 雲龍寺 様

◆島根県 2

5 地福寺 様  
64 安栖院 様  
139 十楽寺 様  
155 洞光寺 様  
195 總光寺 様

◆香川県

3 南隆寺 様

◆愛媛県

96 安穩寺 様  
155 禪興寺 様

◆福岡県

福岡県曹洞宗青年会 様

◆大分県

14 葉王寺 様

◆長崎県 1

22 圓通寺 様  
42 西方寺 様  
73 大圓寺 様

◆長崎県 2

曹洞宗長崎県第二宗務所 様

◆佐賀県

88 正昭寺 様  
佐賀県曹洞宗青年会 様

◆熊本県 1

43 永國寺 様  
60 含藏寺 様

◆熊本県 2

89 金慶寺 様  
105 芳證寺 様  
124 隣峰寺 様

◆宮崎県

14 妙光寺 様  
49 如法寺 様

◆長野県 1

109 興禪寺 様  
343 全芳院 様  
567 葉師寺 様

◆長野県 2

405 水月院 様  
541 観音寺 様  
603 長性院 様

◆長野県

曹洞宗婦人会会長  
高野美智子 様

◆福井県

69 龍門寺 様

102 永賞寺 様

◆石川県

35 東光院 様  
75 大覚寺 様

◆富山県

149 葉王寺 様

◆新潟県 1

362 長禪寺 様  
397 善昌寺 様  
445 永林寺 様  
451 正圓寺 様

◆新潟県 3

曹洞宗新潟県第三宗務所 様

◆新潟県 4

6 大榮寺 様

◆新潟県

新潟県曹洞宗青年会 様

◆福島県

41 石雲寺 様  
101 成林寺 様  
110 龍徳寺 様  
274 龍門寺 様

◆宮城県

76 清涼寺 様  
95 耕龍寺 様  
131 洞昌寺 様  
348 満照寺 様  
461 洞松院 様

◆岩手県

55 長壽寺 様  
145 見性寺 様  
175 長泉院 様  
185 長泉寺 様  
192 常堅寺 様  
233 玉泉寺 様  
235 城玖寺 様  
288 長福寺 様

◆青森県

8 宝積院 様  
118 長福寺 様

◆山形県 1

8 常林寺 様  
225 正源寺 様

◆山形県 2

344 蔵高院 様

◆秋田県

17 補陀寺 様  
47 東傳寺 様  
70 玉龍寺 様  
75 泉流寺 様  
95 蔵昌寺 様  
252 長泉寺 様  
261 見性寺 様  
319 長年寺 様  
326 圓福寺 様

◆北海道 1

96 観音寺 様

◆北海道 2

165 玉蓮寺 様  
181 永祥寺 様  
317 密伝寺 様

インターネット  
受付分

◆宮崎県

宮崎県曹洞宗青年会 様

◆福井県

269 御誕生寺 様

◆新潟県 4

256 金源寺 様

寺院用仏具・仏壇・墓石・製造販売

曹洞宗梅花流法具販売指定店



株式会社

放光

本社・工場 〒940-0825 新潟県長岡市高畑町 617

TEL 0120-174176

FAX 0258-32-7149

ホームページ

<http://hoko-butugu.com/>

全てお引受します

大般若經

補修

過去帳

表紙の取替(裏表) 一万円より  
虫食補修

納骨壇

製造価格にて新調

式典具

衝立張替 三、九万円より  
屏風修理新調

仏具

金具交換・漆塗りしから修理新調

仏像

手摺大直し・修理新調 五万円より  
鍍金の修理 新調 補充

書画額

平切1/3修理新調 二、五万円より

山号寺号額

二十万円より

掛軸

書画平切 三、九万円より  
仏壇飾(仏具飾) 修理新調  
涅槃図等 大中

そろそろ修理

見積無料

京都掛軸 杉本工芸

〒602-8268 京都市上京区山里町 236-1 TEL 075-417-6966

# 賛助費浄納御芳名簿

平成30年4月1日～平成30年6月30日取扱い分

## ◆東京都

81 長光寺 様  
173 江岸寺 様  
333 雲慶院 様

## ◆神奈川県 2

150 定方寺 様

## ◆埼玉県 2

227 東陽寺 様  
336 永福寺 様  
345 成安寺 様  
368 東昌寺 様

## ◆群馬県

311 泉通寺 様

## ◆栃木県

1 成高寺 様  
2 桂林寺 様  
36 妙見寺 様  
94 天性寺 様  
103 光真寺 様  
202 明林寺 様

## ◆茨城県

182 龍心寺 様  
197 長龍寺 様

## ◆千葉県

2 宗胤寺 様  
7 満蔵寺 様  
22 廣壽寺 様  
29 慶林寺 様  
76 全宅寺 様  
93 芳泰寺 様  
133 永昌寺 様  
212 真光寺 様  
315 雲龍寺 様

## ◆山梨県

245 青原院 様  
248 廣禪院 様  
267 福昌寺 様  
453 金剛寺 様  
曹洞宗山梨県青年会 様

## ◆静岡県 1

26 宝珠院 様  
109 玉泉寺 様  
208 延命寺 様

388 林叟院 様  
421 盤脚院 様  
461 心岳寺 様  
464 正泉寺 様

## ◆静岡県 2

228 耕月寺 様  
319 源光院 様  
329 永昌寺 様  
332 龍雲寺 様  
362 福泉寺 様

## ◆静岡県 3

608 養勝寺 様  
1208 法雲寺 様

## ◆静岡県 4

1065 高林寺 様

## ◆愛知県 1

7 全香寺 様  
18 大蓮寺 様  
28 長松院 様  
101 成福寺 様  
133 瑞泉寺 様  
173 神藏寺 様  
182 観昌寺 様  
229 寶泉寺 様  
261 葉師寺 様  
287 向陽寺 様  
313 長松寺 様  
323 龍潭寺 様  
375 春江院 様  
625 宝積寺 様  
633 岩藏寺 様  
635 永澤寺 様  
644 増福寺 様

## ◆愛知県 2

684 花井寺 様

## ◆愛知県 3

431 報恩寺 様  
498 神後院 様

## ◆岐阜県

15 東林寺 様  
28 観音寺 様  
189 久昌寺 様  
190 長久寺 様  
217 本覚寺 様

## ◆三重県 1

37 四天王寺 様  
83 涼泉寺 様  
240 安心寺 様  
250 慶林寺 様  
269 大蓮寺 様  
276 地藏院 様  
308 地福院 様  
315 葉師寺 様

## ◆京都府

67 苗秀寺 様  
236 善光寺 様  
378 徳昌寺 様  
389 萬福寺 様

## ◆大阪府

14 慈光寺 様  
31 正泉寺 様  
67 栄松寺 様

## ◆兵庫県 1

30 岡本寺 様  
315 長松寺 様  
337 友松寺 様

## ◆兵庫県 2

117 法円寺 様  
134 谷松寺 様  
154 鷲住寺 様  
225 大雲寺 様

## ◆岡山県

130 蓮性寺 様

## ◆広島県

26 正福寺 様  
46 双照院 様  
62 善興寺 様  
95 泉龍寺 様  
100 中興寺 様  
131 善昌寺 様  
143 常林寺 様  
179 神宮寺 様  
181 東明寺 様

## ◆山口県

25 弘濟寺 様  
86 興元寺 様  
170 大源寺 様

## ◆鳥取県

1 興雲寺 様  
143 瑞應寺 様  
206 雲龍寺 様

## ◆島根県 2

5 地福寺 様  
59 清光院 様  
63 龍覚寺 様  
70 完全寺 様  
187 養善寺 様

## ◆香川県

3 南隆寺 様

## ◆愛媛県

133 昌福寺 様  
146 興雲寺 様  
155 禅興寺 様

## ◆大分県

8 豊音寺 様  
48 宗玄寺 様  
82 多福院 様  
87 正福寺 様  
118 金龍寺 様

## ◆長崎県 1

22 圓通寺 様  
42 西方寺 様  
78 宝泉寺 様

## ◆熊本県 1

60 含藏寺 様

## ◆熊本県 2

105 芳證寺 様

## ◆宮崎県

49 如法寺 様

## ◆長野県 1

62 良松寺 様  
65 柳原寺 様  
99 天照寺 様  
109 興禪寺 様  
227 岩松院 様  
322 守芳院 様  
567 葉師寺 様  
587 観音庵 様

## ◆長野県 2

389 宗福寺 様  
400 長久寺 様  
405 水月院 様  
541 観音寺 様

## ◆福井県

69 龍門寺 様  
102 永賞寺 様  
272 洞善寺 様

## ◆富山県

149 葉王寺 様

## ◆新潟県 1

362 長禅寺 様  
393 曹源寺 様  
397 善昌寺 様  
451 正圓寺 様

## ◆新潟県 2

368 正通寺 様

## ◆新潟県 3

519 少林寺 様  
535 普光寺 様

## ◆新潟県 4

6 大榮寺 様  
196 香傳寺 様  
208 福樂寺 様

## ◆福島県

14 円通寺 様  
94 松蔵寺 様  
101 成林寺 様  
110 龍徳寺 様  
112 耕雲寺 様  
266 洞雲寺 様  
399 法界寺 様

## ◆宮城県

7 保壽寺 様  
55 實相寺 様  
69 見松寺 様  
102 吉祥寺 様  
348 満照寺 様  
371 頼光寺 様  
440 城國寺 様  
461 洞松院 様

## ◆岩手県

17 清水寺 様  
23 清雲院 様  
123 寶城寺 様  
145 見性寺 様  
185 長泉寺 様  
233 玉泉寺 様  
288 長福寺 様

## ◆青森県

15 梅林寺 様  
100 澄月寺 様  
183 大乘寺 様  
189 乗照寺 様

## ◆山形県 1

14 耕雲寺 様  
225 正源寺 様

## ◆山形県 2

344 蔵高院 様

## ◆山形県 3

433 祐性院 様

## ◆秋田県

17 補陀寺 様  
75 泉流寺 様  
87 慶祥寺 様  
95 蔵昌寺 様  
206 松雲寺 様  
261 見性寺 様  
265 倫勝寺 様  
323 恩徳寺 様  
326 圓福寺 様

## ◆北海道 1

96 観音寺 様

## ◆北海道 2

102 興禅寺 様  
165 玉運寺 様  
279 西乗寺 様  
338 大仙寺 様  
419 龍門寺 様  
455 玉法寺 様

## ◆北海道 3

203 西来寺 様

## ボランティア基金感謝録

東京都 曹洞宗宗務庁 様

三重県 四天王寺 様

広島県 福善寺 様

全国曹洞宗青年会の活動は皆さまの賛助費に支えられております。  
この度もご協力いただき誠に有難うございました。

東三河曹洞宗青年会から参加しております。今期で3期目となり、教化委員会副委員長を拝命しました。

前期に引き続き『アプリソウセイ』法要公務帳を主に担当させていただき、今期は「本葬」を追加いたしました。

教化委員会では、その他にも映画事業、味来食堂、緑陰禅等々、盛り沢山ではありますが、参加するだけではなく、しっかりと参稼出来るように、ふんどしを締め直して努めてまいります。よろしくお願いいたします。

委員 渡邊亮弘



今期教化委員会委員長を仰せつかりました新潟県曹洞宗青年会より参加させていただいております、近藤真弘です。

教化委員会では映画事業を始め、味来食堂や『アプリソウセイ』法要公務帳に「本葬」の追加等々、活動は多岐にわたっております。昨年は委員会のメンバーと協力し合い充実した活動を行うことが出来ました。本年も活動を通して自己の研鑽を深めるとともに、全国青年僧侶の布教教化の一助となるべく、委員会一丸となり邁進していきたく存じます。

委員長 近藤真弘



新潟県曹洞宗青年会より参加させていただいております藤田祥典と申します。この度、初めて全曹青の活動に参加させていただいて私自身が様々な刺激を受けております。やるからには精一杯活動していきたいと思ひますし、成長できた2年間だったと思えるように頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

委員 藤田祥典



いずも曹洞宗青年会より参加させていただいております森井宗淳と申します。全曹青には今期から初めての参加で、分からないことだらけで右往左往しております。ただただ、やる事業のスケールの壮大さと責任の重さに圧倒されています。

自分がどういったことで力になれるかはわかりませんが、あつた任を一所懸命に頑張りたいと思ひます。そして、あわよくばこの経験を活かして自分自身も成長できればと……。

委員 森井宗淳



宮城県宗恵寺長尾靖樹と申します。委員会では、味来食堂を担当しております。

味来食堂や地元の公民館で料理教室、写経教室、仮設住宅での炊き出し等を通して精進料理の普及や禅の大切さを伝えていきたいと活動しております。季節の旬の食材を取り入れ、味だけではなく目でも楽しめるように工夫し、あらゆるものの命をいただくことに感謝しながら料理することを心がけています。

先人から受け継いできたものを変わず未来へ繋げていきたいと考えます。

委員 長尾靖樹



全曹青  
real voice



曹洞宗福島県青年会より参加しております齋藤紹俊と申します。前期より活動しております、今期も東大寺千僧法要やその他各法要随喜に加え、『アプリソウセイ』法要公務帳の更新として、「本葬」追加を無事終えることができ、味来食堂の定期開催や映画事業も大詰めを迎え、充実した内容で日々活動しております。委員の方々と共により良きものが出来そうです、精進してまいります。

委員 齋藤紹俊



山形曹洞宗青年会から参加させていただいている秋場泰法と申します。今期から初めての参加で右も左もわかりませんが、近藤委員長をはじめ先輩方の指導の下、委員の方々を力合わせて精進してまいります。

今期は『アプリソウセイ』に映画事業と目白押しですが、委員会の方々を協力して努めてまいります。何卒よろしくお願いいたします。

委員 秋場泰法



北海道第1宗務所青年会から第21期より参加しております小林永季と申します。

前期の総合企画委員会より転属となり、教化委員会でお世話になっています。担当案件が多く、分野も多岐に渡る為、当初は文字通り暗中摸索しておりましたが、皆様のご協力の下、これまで努めてこられました。残りの任期も微力ながら尽力してまいりたいと思ひます。

委員 小林永季



この度、長崎県曹洞宗青年会から参加させていただいております、天雨顕成です。皆様よろしくお願いいたします。

今回教化委員会では、映画事業、味来食堂、緑陰禅、ヨガ坐禅、東大寺千僧法要、『アプリソウセイ』など多くの物に関わらせていただいております。初めての事なので、慣れないことも多いですが、精一杯頑張りたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

委員 天雨顕成



連載



第4回

# 冥女怨

文と絵／愛知県 正壽寺寺族

早坂 宏香



観音さまの小さな石像が境内にお祀りしてあります。その一体にひどいひび割れがあり、いまにも頽れそうな状態だということにある日気がつきました。

「観音さまが頽れるなんて！縁起が悪いことになつては大変！」と慌てて方丈さんに相談したのですが、返ってきたのはのんびりと一言。

「ありがたいことだなあ」

まさかそんな言葉が返ってくるとは夢にも思わず、驚いてしまい方丈さんの言葉の真意もわかりません。恐る恐る理由を請うたところ、

「ずっとみんなを見守ってくださつてそのようなお姿になられたということだろう、ありがたいことだ」

と返事をもらい、ようやくハッと気づくことができました。

形のあるものに常はないのだと頭でわかつたつもりでしたが、実際には「仏の像が壊れることはあつてはならない」という思い込みをしていたのでした。もちろん壊れていいものでもありませんでしょうが、ただ長い年月を私たちを見守り経た末に石の仏という形でのお役目を終えられようとしているだけなのでしょう。

観音さまのお慈悲が絶えることはありませんが、形あるものいつかはお役を終えられます。お側で見守り導いてくださる、今この瞬間に心から感謝していこうと思いを新たにしていたのでした。合掌

# 大阪北部地震、平成30年7月豪雨のお見舞い

この度の大阪北部を中心とした大地震、並びに平成30年7月豪雨に際し、被害に遭われました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。お亡くなりになられた方々のご冥福と、一日も早く皆様方の日常生活の復旧・復興が実現されますことを心より祈念申し上げます。



四国地区曹洞宗青年会といずれも曹洞宗青年会の支援活動の様子

## お知らせ

### お詫びと訂正

SOUSEI181号、18ページで、無量寺様(青山俊董住職)と記載しましたが、現在青山老師は無量寺東堂をお務めになっています。青山老師並びに関係各位にお詫びし訂正いたします。

### 表紙の話

「外国人旅行者の増加とともに、お寺をお参りする旅行者も増えています。お寺のもう1つの日常として、米国と中国出身の方が参拝する様子を撮影しました」

撮影者/PG 原依里

撮影場所/福岡県久留米市 千光寺

第29回WFB世界仏教徒会議・  
第20回WFBY世界仏教徒青年会議日本大会・  
全日本仏教青年会全国大会 併催

## 全国曹洞宗青年会 平成30年度 禅文化学林



平成30年11月9日～10日 大本山總持寺にて  
世界大会、全日仏青全国大会諸行事、並びに短編映画  
『典座 -TENZO-』完成試写会を行います。  
後日改めてご案内いたします。  
内容については本誌8～11ページをご参照下さい。